

三河の昆虫

No. 38

1991年1月

〒444-35
岡崎市舞木町狐山6-4
大平仁夫方
三河昆虫研究会 発行

MIKAWA NO KONTYU

Published by

The Mikawa Insects Association

鳳来町の半翅目

浅岡孝知

鳳来町の半翅については、筆者が愛知県の昆虫(上)1990において、七郷一色を中心に90種あまりを記録している。本年度若干であるが、追加することができたので、おおよそをまとめてみた。中間報告として報告する。以下に目録をまとめる。期日のないものは既報していることを表す。

尚、同一産地については、一例だけを記してある。学名等は平嶋義宏(1989)日本産昆虫総目録によっている。

目 録

まるかめむし科 (Plataspidae)

1. マルカメムシ *Megacopta punctatissima*
七郷一色, 甚古山29-IV, 1ex. 亀淵川29-IV,
1ex. 棚山3-V, 1ex. 全域に産する。

つちかめむし科 (Cydniidae)

1. ツチカメムシ *Macroscytus japonensis*
2. ヨコヅナツチカメムシ *Adrisa magna*

かめむし科 (Pentatomidae)

1. トゲカメムシ *Carbula humerigera*
2. ムラサキシラホシカメムシ *Eysarcoris annamita*
3. クサギカメムシ *Halyomorpha picus*
七郷一色。榎原29-IV, 1ex. 普通である。

4. エゾアオカメムシ *Palomena angulosa*
5. チャバネアオカメムシ *Plautia crossota stali* 七郷一色。上島田川3-V, 1ex. 普通である。

えびいろかめむし科 (Phyllocephalidae)

1. エビイロカメムシ *Gonopsis affinis*

つのかめむし科 (Acanthosomatidae)

1. セアカツノカメムシ *Acanthosoma denticauda*
2. ハサミツノカメムシ *Acanthosoma labiduroides*
3. ヒメツノカメムシ *Elasmucha putoni*
4. エサキモンキツノカメムシ *Sastragala esakii*
5. モンキツノカメムシ *Sastragala scutellata*

ほそへりかめむし科 (Alydidae)

1. クモヘリカメムシ *Leptocoris chinensis*
2. ホソヘリカメムシ *Riptortus clavatus*

へりかめむし科 (Coreidae)

1. オオクモヘリカメムシ *Anacanthocoris stricornis*

2. ホソハリカメムシ *Cletus punctiger*
3. ハリカメムシ *Cletus rusticus*
4. ハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus dilatatus*
5. ホシハラビロヘリカメムシ *Homoeocerus unipunctatus* 七郷一色。黄柳野 29-IV, 1ex. 全地域に産する。
6. オオツマキヘリカメムシ *Hygia (Colpura) lativentris*
7. ツマキヘリカメムシ *Hygia (Hygia) opaca*
8. オオヘリカメムシ *Molipteryx fuliginosa*

ひめへりかめむし科 (Rhopaliidae)

1. スカシヒメヘリカメムシ *Liorhyssus hyalinus*

ながかめむし科 (Lygaeidae)

1. ヒメナガカメムシ *Nysius plebejus*
2. ムラサキナガカメムシ *Pylorgus colon*
3. コバネナガカメムシ *Dimorphopterus pallipes*
4. ホソコバネナガカメムシ *Macropes obnubilus*
5. オオメカメムシ *Piocoris varius* 七郷一色。吉田 15-IV, 1ex. 棚山 3-V, 1ex. 榎原 15-V, 2ex. 普通である。
6. ヒョウタンナガカメムシ *Caridops albomarginatus*
7. モンシロナガカメムシ *Panaorus albomaculatus*
8. ケベリヒョウタンナガカメムシ *Paraparonius lateralis*
9. コバネヒョウタンナガカメムシ *Togo hemipterus*
10. クロアシホソナガカメムシ *Paronius exiguus*

めだかながかめむし科 (Malcidae)

1. メダカナガカメムシ *Chauliops fallax*

ほしかめむし科 (Pyrrhocoridae)

1. フタモンホシカメムシ *Pyrrhocoris sibiricus*

おおほしかめむし科 (Largidae)

1. ヒメホシカメムシ *Physopelta cincticollis*

ぐんばいむし科 (Tingidae)

1. トサカゲンバイ *Stephanitis takeyai*
2. コアカソゲンバイ *Cysteochila fieberi* 棚山 3-V, 1ex.

さしがめ科 (Reduviidae)

1. ヤニサシガメ *Velinus nodipes*
2. クロモンサシガメ *Peirates turpis*
3. ビロウドサシガメ *Ectrychotes andreae* 七郷一色。榎原 15-IV, 1ex.
4. シマサシガメ *Sphedanolestes impressicollis* 七郷一色。亀淵川 29-IV, 1ex.

めくらかめむし科 (Miridae)

1. フタモンアカメクラガメ *Lygocoris (Apolygus) hilaris*
2. オオマダラメクラガメ *Phytocoris ohataensis* 七郷一色。黄柳野 2-IV, 4ex.
3. アカヒゲホソミドリメクラガメ *Trigonotylus ruficornis*
4. グンバイメクラガメ *Stethoconus japonicus*

いとかめむし科 (Berytidae)

1. イトカメムシ *Yemma exilis* 榎原 15-IV, 2ex.

まきばさしがめ科 (Nabidae)

1. ホソマキバサシガメ *Arbela tabida* 棚山 3-V, 1ex. 愛知県初記録と思われる。
2. アカマキバサシガメ *Gorpis brevilineatus*

3. コバネマキバサシガメ *Nabis (Milu) apicalis* 棚山 3-V, 1ex. 普通である。

いとあめんぼ科 (Hydrometridae)

1. イトアメンボ *Hydrometra albolineata*

あめんぼ科 (Gerridae)

1. アメンボ *Gerris (Aquarius) Paludum Paludum* 七郷一色。亀淵川 29-IV, 1ex. 普通である。
2. ヒメアメンボ *Gerris latiabdominis* 榎原 15-IV, 1ex. 水たまりに普通である。

みずむし科 (Corixidae)

1. ハラグロコミズムシ *Sigara nigroventralis*

まつもむし科 (Notonectidae)

1. コマツモムシ *Anisops ogaswarensis*

せみ科 (Cicadidae)

1. アブラゼミ *Graptopsaltria nigrofuscata*
2. ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*
3. ミンミンゼミ *Oncotympana maculaticollis*
4. ヒゲラシ *Tanna japonensis japonensis*

つのせみ科 (Membracidae)

1. トビイロツノゼミ *Machaerotypus sibiricus* 七郷一色。甚古山 29-IV, 1ex. 亀淵川 29-IV, 1ex. 棚山 3-V, 1ex. 吉田 15-IV, 1ex. 榎原 15-IV, 1ex. 各地に普通である。
2. マルツノゼミ *Gargara genistae*

とげあわふきむし科 (Machaerotidae)

1. ムネアカアワフキ *Hindoloides bipunctatus* 甚古山 29-IV, 1ex. 榎原 15-IV, 1ex. 早春に多い。

こがしらあわふきむし科 (Cercopidae)

1. コガシラアワフキ *Eoscartopis assimilis*

あわふきむし科 (Aphrophoridae)

1. クロスジホソアワフキ *Aphilaenus nigripectus* 黄柳野 2-IV, 4ex.
2. マエキアワフキ *Aphrophora costalis*
3. シロオビアワフキ *Aphrophora intermedia*
4. ホシアカフキ *Aphrophora stictica*
5. モンキアワフキ *Yezophora flavomaculata*

みみずく科 (Ledridae)

1. コミミズク *Ledropsis discolor* 七郷一色。甚古山 29-IV, 1ex. 上島田川 3-V, 1ex. 榎原 15-IV, 1ex. 早春に多い。

ぶちみやくよこばい科 (Drabescidae)

1. ブチマクヨコバイ *Drabescus nigrifemoratus*

よこばい科 (Deltocephalidae)

1. カスリヨコバイ *Balclutha punctata*
2. ツマグロヨコバイ *Nephotettix cincticeps*
3. シロミヤクイチモンジヨコバイ *Paramesodes albinervosus*
4. シラホシスカシヨコバイ *Scaphoideus festivus*

おおよこばい科 (Cicadellidae)

1. ツマグロオオヨコバイ *Bothrogonia ferruginea* 七郷一色。甚古山 29-IV, 1ex. 上島田川 3-V, 1ex. 愛郷 3-V, 1ex. 吉田 15-IV, 1ex. 各地に多い。
2. オオヨコバイ *Cicadella viridis* 七郷一色。黄柳野 2-VI, 3ex. 普通である。
3. マエジロオオヨコバイ *Kolla atramentaria*

七郷一色。甚古山 29-IV, 1♂。亀淵川 29-IV, 1ex. 愛郷 3-V, 1ex. 棚山 3-V, 1ex. 横原 15-IV, 1ex. 各地に多い。

あおずきんよこばい科 (Iassidae)

1. アオズキンヨコバイ *Batracomorphus mundus*

くろひらたよこばい科 (Penthimiidae)

1. クロヒラタヨコバイ *Penthimia nitida* 七郷一色。上島田川 3-V, 1ex. 普通である。

ひろずよこばい科 (Macropsidae)

1. フタオビハトムネヨコバイ *Macropsis matsumurana* 七郷一色。黄柳野 2-VI, 1ex.

ずきんよこばい科 (Idioceridae)

1. ズキンヨコバイ *Idiocerus vitticollis*
2. シロズキンヨコバイ *Idiocerus ishiyamae* 吉田 15-IV, 1ex.

ほしさじよこばい科 (Paraboloponidae)

1. サジヨコバイ *Parabopona guttata*

しだよこばい科 (Agalliiidae)

1. シダヨコバイ *Japanagallia pteridis* 吉田 15-IV, 1ex. 棚山 3-V, 1ex.

ふとよこばい科 (Errhomenellidae)

1. クワキヨコバイ *Pagaronia guttigera* 七郷一色。黄柳野 2-IV, 2ex. 棚山 3-V, 1ex. 各地に普通である。

ひしうんか科 (Cixiidae)

1. ヤナギカワウンカ *Andes marmoratus*
2. ハスオビヒシウンカ *Betacixius obliquus*
3. イボタヒシウンカ *Kuvera ligustri* 七郷一色。甚古山 29-IV, 1ex.
4. ヒシウンカ *Pentastiridius apicalis* 七郷一色。棚山 3-V, 1ex. 上島田川 3-V, 1ex.

黄柳野 2-VI, 3ex. 普通である。

5. ヨスジヒシウンカ *Reptalus quadricinctus*

まるうんか科 (Issidae)

1. マルウンカ *Gergithus variabilis* 七郷一色。上島田川 3-V, 1ex. 黄柳野 29-IV, 2ex. 普通である。

ぐんばいうんか科 (Tropiduchidae)

1. タテスジグンバイウンカ *Catullia vittata*

はごろも科 (Ricaniiidae)

1. ベッコウハゴロモ *Orosanga japonicus*
2. アミガサハゴロモ *Pochazia albomaculata*

おおばはごろも科 (Flatidae)

1. アオバハゴロモ *Geisha distinctissima*

うんか科 (Delphacidae)

1. セジロウンカ *Sogatella furcifera*
2. トビイロウンカ *Nilaparvata lugens*

鳳来町の半翅目は、ここに43科 103種を報告する。これはあくまで中間報告としたい。

今年度の調査は、春だけに限られているので、今後通年調査を進めて、概要をまとめていきたい。

参考文献

1. 浅岡孝知他(1990) 愛知県の同翅目・異翅目 愛知県:105-162。

愛知県南設楽郡鳳来町のハムシ類

山崎隆弘

鳳来町は愛知県のなかでも極めて自然に恵まれた所で、とりわけ北部の北設楽郡と接するところは、明神山(1,016 m)をはじめ、宇連山(929 m)から鞍掛山(883 m)に至る三河山地在連なっている。この一帯は各種の渓谷が形成され、一河川豊川の支流の多くはここを源としている。

また東部は弓張山系によって静岡県と接しており、600 m前後の山地が連続して連なる。町の中心部にはブッポウソウで著名な鳳来寺山(684 m)があって動植物の宝庫となっている。これら地域の各所には大小の滝が存在し、なかでも阿寺の七滝と大島川溪谷の百間滝は著名である。湖沼では

人造湖の鳳来湖がある。

このように地形の極めて変化に富んだ地域にもかかわらず、ハムシ科甲虫については代表的なものしか知られておらず、調査の機会も僅かであったが、この度浅岡孝知氏の採集品を見せて頂き、さらに発表の機会を与えて頂いたので、鳳来町のハムシ科目録を作成したいと思う。

この目録では紙面の都合上同一の産地のものについては、代表的なものを一例だけとした。

お世話になった大平仁夫博士、浅岡孝知氏に対し心からお礼申し上げる。

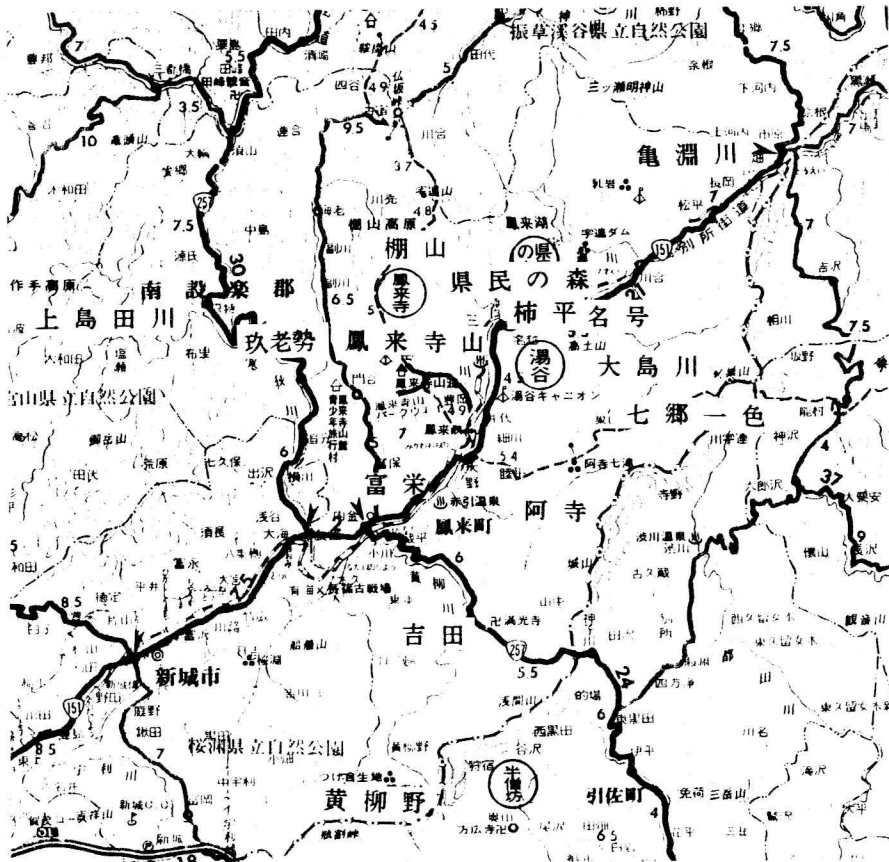


図-1 鳳来町及びその周辺と主な採集地

目 録

ナガハムシ亜科 (Orsodacinae)

1. ワモンナガハムシ
Zeugophora annulata (Baly)
阿寺, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。既に鳳来寺山(大平1985)で記録あり。

クビボソハムシ亜科 (Criocerinae)

2. ルイスクビナガハムシ
Liliocerus lewisi (Jacoby)
阿寺(神谷1955)で記録されている。稀種。
3. ホソクビナガハムシ
Liliocerus parvicollis (Baly)
七郷一色, 5-V-'87, 2ex. 浅岡。棚山, 3-V-'90, 2ex. 浅岡。
4. アカクビボソハムシ
Lema diversa Baly
七郷一色, 28-VIII-'87, 1ex. 浅岡。
5. スゲクビボソハムシ
Lema dilecta Baly
七郷一色, 28-VIII-'87, 1ex. 浅岡。県下ではこれが3ヶ所目の産地である。
6. ヤマイモハムシ
Lema honorata Baly
七郷一色, 5-VII-'87, 4ex. 浅岡。玖老勢, 13-VII-'86, 2ex. 浅岡。
7. トホシクビボソハムシ
Lema decempunctata Gebler
鳳来寺山(大平1985)の記録がある。

ツツハムシ亜科 (Cryptocephalinae)

8. ハギツツハムシ
Pachybrachis eruditus (Baly)
県民の森(大平1986)の記録がある。
9. バラルリツツハムシ
Cryptocephalus approximatus Baly
七郷一色, 20-V-'90, 1ex. 山崎。大島川, 20-V-'90, 1ex. 山崎。柿平, 29-IV-'77, 1ex. 浅岡。富栄, 18-V-'86, 3ex. 浅岡。既

に鳳来寺山(大平1985)その他で記録あり。

10. キアシルリツツハムシ
Cryptocephalus fortunatus Baly
七郷一色, 13-VI-'87, 2ex. 浅岡。
11. ヤツボシツツハムシ
Cryptocephalus japonus Baly
柿平, 29-IV-'77, 1ex. 浅岡。愛知県では極めて稀な種で豊根村で2例の記録があるが、浅岡氏の採集品のなかに鳳来峡で得たものがあった。今後もブナ科の植物に注意すれば発見できる可能性がある。
12. クロボシツツハムシ
Cryptocephalus signaticeps Baly
七郷一色, 5-V-'87, 2ex. 浅岡。大島川, 20-V-'90, 2ex. 山崎。柿平, 29-IV-'77, 3ex. 浅岡。阿寺, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。
13. ヨツモンクロツツハムシ
Cryptocephalus nobilis Kraatz
鳳来寺山(山崎1978)で記録があるが、愛知県での採集例は極めて少なく稀種である。
14. チビルリツツハムシ
Cryptocephalus confusus Suffrian
黄柳野, 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。記録の少ない種である。
15. ジュウシホシツツハムシ
Cryptocephalus tetradecaspilotus Baly
七郷一色, 28-VIII-'87, 2ex. 浅岡。県下では他に作手村(山崎・穂積1990)で一例が記録されている。食草のマルバハギに注意。

コブハムシ亜科 (Chlamisinae)

16. ムシクソハムシ
Chalamisus spilotus (Baly)
甚古山, 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。
17. ツバキコブハムシ
Chalamisus lewisii Baly
名号, 15-IX-'87, 1ex. 浅岡。棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。既に鳳来寺山(山崎 穂積1990)で記録あり。

ツヤハムシ亜科 (Lamprosomatinae)

18. ドウガネツヤハムシ
Oomorphoides cupreatus (Baly)
 七郷一色, 6-VI-'87, 2ex. 浅岡。大島川,
 20-V-'90, 2ex. 山崎。; 名号, 15-IX-'87,
 1ex. 浅岡。棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。玖老
 勢, 13-VII-'86, 1ex. 浅岡。黄柳野, 20-V-'
 '90, 1ex. 山崎。既に阿寺(神谷1955)その他
 で記録あり。
19. アオグロツヤハムシ
Oomorphoides nigrocaeruleus (Baly)
 亀淵川, 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。七郷一色,
 20-V-'90, 1ex. 山崎。

サルハムシ亜科 (Eumolpinae)

20. アオガネヒメサルハムシ
Nodina chalcosoma Baly
 阿寺(神谷1955)の記録がある。
21. トビサルハムシ
Trichochrysea japana (Motschulsky)
 棚山, 3-V-'90, 2ex. 浅岡。既に阿寺(神
 谷1955)で記録あり。
22. クロオビカサハラハムシ
Hyperaxis fasciata (Baly)
 七郷一色, 6-VI-'87, 1ex. 浅岡。
23. マダラアラゲサルハムシ
Demotina fasciculata Baly
 七郷一色, 5-VII-'87, 1ex. 浅岡。大島川,
 20-V-'90, 1ex. 山崎。亀淵川, 29-IV-'90,
 2ex. 浅岡。鳳来峡, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。
 棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。甚古山, 29-IV-'
 '90, 1ex. 浅岡。上島田川, 3-V-'90, 1ex.
 浅岡。富栄, 18-V-'86, 2ex. 浅岡。吉田, 15-
 IV-'90, 2ex. 浅岡。黄柳野, 20-V-'90, 3ex.
 山崎。既に阿寺(神谷1955)その他で記録あり。
24. アカガネサルハムシ
Acrothinium gaschkevitchii (Motschulsky)
 柿平, 29-IV-'77, 1ex. 浅岡。甚古山, 29-
 IV-'90, 1ex. 浅岡。既に阿寺(神谷1995)

で記録あり。

25. リンゴコフキサルハムシ
Lypesthes ater (Motschulsky)
 鳳来寺山(山崎・穂積1990)の記録がある。
26. アオバネサルハムシ
Basilepta fulvipes (Motschulsky)
 七郷一色, 5-VII-'87, 2ex. 浅岡。既に阿
 寺(神谷1955)の記録がある。
27. ムナゲクロサルハムシ
Basilepta hirticollis (Baly)
 七郷一色, 6-VI-'87, 1ex. 浅岡。
28. ヒメキバネサルハムシ
Pagria signata (Motschulsky)
 七郷一色, 13-VI-'87, 1ex. 浅岡。既に阿
 寺(神谷1955)で記録あり。

ハムシ亜科 (Chrysomelinae)

29. ヤナギルリハムシ
Plagioderia versicolora (Laicharting)
 七郷一色, 6-VI-'87, 3ex. 浅岡。既に阿寺
 (神谷1955)で記録あり。
30. ヨモギハムシ
Chrysolina aurichalcea (Mannerheim)
 七郷一色, 18-X-'87, 1ex. 浅岡。
31. ルリハムシ
Linnaeidea aenea (Linné)
 七郷一色, 5-V-'87, 1ex. 浅岡。亀淵川,
 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。鳳来峡, 15-IV-'90,
 2ex. 山崎。
32. クルミハムシ
Gastrolina depressa Baly
 鳳来寺山(山崎・穂積1990)の記録がある。
33. ミヤマヒラタハムシ
Gastrolina peltoides (Gebler)
 亀淵川, 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。
34. フジハムシ
Gonioctena rubripennis Baly
 七郷一色, 5-V-'87, 9ex. 浅岡。亀淵川,
 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。棚山, 3-V-'90, 2ex.
 浅岡。上島田川, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。黄柳

野, 20-V-'90, 2ex. 山崎。既に鳳来湖(山崎・穂積1990)で記録あり。

ヒゲナガハムシ亜科 (Galerucinae)

35. アカタデハムシ
Pyrrhalta semifulra (Jacoby)
七郷一色, 5-V-'87, 1ex. 浅岡。阿寺, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。既に鳳来寺山, ほか(山崎・穂積1990)で記録あり。
36. サングジュハムシ
Pyrrhalta humeralis (Chen)
阿寺(神谷1955)の記録がある。
37. ニレハムシ
Pyrrhalta maculicollis (Motschulsky)
棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。
38. ウリハムシ
Aulacophora femoralis (Motschulsky)
七郷一色, 3-X-'87, 1ex. 浅岡。鳳来峡, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。既に阿寺(神谷1955)その他で記録あり。
39. クロウリハムシ
Aulacophora nigripennis Motschulsky
阿寺(神谷1955)その他で記録あり。
40. ヨツボシハムシ
Paridea quadriplagiata (Baly)
棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。黄柳野, 20-V-'90, 1ex. 山崎。
41. アトボシハムシ
Paridea angulicollis (Motschulsky)
大島川, 20-V-'90, 2ex. 山崎。上島田川, 20-V-'90, 1ex. 浅岡。黄柳野20-V-'90, 1ex. 山崎。
42. クロバヒゲナガハムシ
Taumacera tibialis (Jacoby)
七郷一色, 5-VII-'87, 2ex. 浅岡。玖老勢, 13-VII-'86, 1ex. 浅岡。既に阿寺(神谷1955)で記録あり。
43. クワハムシ
Fleutiauxia armata (Baly)
七郷一色, 5-V-'87, 4ex. 浅岡。大島川, 20-V-'90, 1ex. 山崎。鳳来峡, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。阿寺15-IV-'90, 1ex. 山崎。棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。富栄, 18-V-'86, 2ex. 浅岡。既に鳳来湖(山崎・穂積1990)で記録あり。
44. キアシヒゲナガアオムシ
Clerotilia flavomarginata Jacoby
阿寺(神谷1955)の記録がある。
45. ハンノキハムシ
Agelastica coerulea Baly
亀淵川, 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。
46. ケブカクロナガハムシ
Hesperomorpha hirsuta (Jacoby)
七郷一色, 20-V-'90, 1ex. 山崎。鳳来峡, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。甚古山, 29-V-'90, 1ex. 浅岡。棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。
47. ルリウスバハムシ
Stenoluperus cyaneus (Baly)
七郷一色, 20-V-'90, 1ex. 山崎。上島田川, 3-V-'90, 3ex. 浅岡。富栄, 18-V-'86, 1ex. 浅岡。黄柳野, 29-IV-'90, 2ex. 浅岡。既に鳳来寺山(山崎・穂積1990)で記録あり。
48. ヒゲナガウスバハムシ
Stenoluperus nipponensis (Laboissière)
七郷一色, 6-VI-'87, 1ex. 浅岡。大島川, 20-V-'90, 3ex. 山崎。黄柳野, 20-V-'90, 2ex. 山崎。
49. ハラゲロヒメハムシ
Calomicrus cyaneus (Jacoby)
七郷一色, 13-VI-'87, 1ex. 浅岡。大島川, 20-V-'90, 7ex. 山崎。槇原, 15-IV-'90, 1ex. 浅岡。棚山, 3-V-'90, 3ex. 浅岡。富栄, 18-V-'86, 1ex. 浅岡。吉田, 15-IV-'90, 2ex. 浅岡。黄柳野, 20-V-'90, 1ex. 山崎。既に鳳来寺山(山崎・穂積1990)で記録あり。
50. キバラヒメハムシ
Exosoma flaviventra (Motschulsky)
七郷一色, 13-VI-'87, 1ex. 浅岡。既に阿寺(神谷1955)で記録あり。
51. ウリハムシモドキ

- Atrachya menetriesi* (Faldermann)
七郷一色, 5-X-'87, 1ex. 浅岡。
52. キイロクワハムシ
Monolepta pallidula (Baly)
七郷一色, 28-VIII-'87, 1ex. 浅岡。既に阿寺(神谷1955)で記録あり。
53. ホタルハムシ
Monolepta dichroa Harold
七郷一色, 3-X-'87, 3ex. 浅岡。名号15-IX-'87, 1ex. 浅岡。既に阿寺(神谷1955)で記録あり。
54. ムナグロツヤハムシ
Arthrotus niger Motschulsky
七郷一色, 6-VI-'87, 2ex. 浅岡。亀淵川, 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。榎原, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。鳳来寺山(山崎・穂積1990)で記録あり。
55. キクビアオハムシ
Agelasa nigriceps Motschulsky
亀淵川, 29-IV-'90, 2ex. 浅岡。
56. ズグロアカハムシ
Gallerucida flavipennis (Solsky)
上島田川, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。
- ノミハムシ亜科 (Alticinae)
57. コカミナリハムシ
Altica viridicyanea (Baly)
七郷一色, 5-V-'87, 2ex. 浅岡。
58. ヒメカミナリハムシ
Altica caerulescens (Baly)
七郷一色, 13-VI-'87, 1ex. 浅岡。
59. ニホンカミナリハムシ
Altica nipponica Ohno
鳳来寺山, 22-V-'78, 1ex. 山崎。
60. ホソルリトビハムシ
Aphthonaltica angustata (Baly)
棚山, 3-V-'90, 2ex. 浅岡。上島田川, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。黄柳野, 29-IV-'90, 2ex. 浅岡。
61. ガマズミトビムシ
Zipangia obscura (Jacoby)
七郷一色, 5-V-'87, 3ex. 浅岡。亀淵川, 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。
62. チャバネツヤハムシ
Phygasia fulvipennis (Baly)
鳳来寺山, ほか(山崎・穂積1990)の記録がある。
63. フタホシオオノミハムシ
Pseudodera xanthophila Baly
七郷一色, 5-V-'90, 3ex. 山崎。黄柳野, 20-V-'90, 3ex. 山崎。
64. フタイロセマルトビハムシ
Aphthonomorpha collaris (Baly)
黄柳野, 20-V-'90, 1ex. 山崎。
65. ツブノミハムシ
Aphthona perminuta Baly
七郷一色, 20-V-'90, 1ex. 山崎。大島川, 20-V-'90, 3ex. 山崎。鳳来峡, 15-IV-'90, 3ex. 山崎。甚古川, 29-IV-'90, 1ex. 浅岡。上島田川, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。吉田, 15-IV-'90, 1ex. 浅岡。
66. サメハダツブノミハムシ
Aphthona strigosa Baly
棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。
67. クワノミハムシ
Luperomorpha funesta (Baly)
愛郷, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。上島田川, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。
68. キアシノミハムシ
Luperomorpha tenebrosa (Jacoby)
七郷一色, 20-V-'90, 2ex. 山崎。大島川, 20-V-'90, 3ex. 山崎。富栄, 18-1ex. '86, 1ex. 浅岡。
69. ヒゲナガルリノミハムシ
Hemipyxis plagioderoides (Motschulsky)
七郷一色, 13-VI-'87, 2ex. 浅岡。既に鳳来寺, ほか(山崎・穂積1990)で記録あり。
70. キバネマルノミハムシ
Hemipyxis flavipennis (Baly)
県民の森(大平1986)で記録がある。

71. オオアカマルノミハムシ
Argopus clypeatus Baly
鳳来峡, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。既に阿寺
(神谷1955)で記録あり。
72. オオキイロマルノミハムシ
Argopus balyi Harold
名号, 15-IX-'90, 1ex. 浅岡。
73. キイロタマノミハムシ
Sphaeroderma fuscicorne Baly
鳳来寺山, 22-V-'78, 1ex. 山崎。既に阿寺
(神谷1955)で記録あり。
74. ムネアカタマノミハムシ
Sphaerodema placidum Harold
七郷一色, 28-VIII-'87, 1ex. 浅岡。名号,
15-IX-'87, 1ex. 浅岡。既に阿寺(神谷1955)
で記録あり。
75. ナスナガスネトビハムシ
Psylliodes angusticollis Baly
七郷一色, 18-X-'87, 1ex. 浅岡。
76. ルリマルノミハムシ
Nonarthra cyanea Baly
七郷一色, 13-VI-'87, 1ex. 浅岡。大島川
20-V-'90, 1ex. 山崎。名号, 15-IV-'90, 2ex.
浅岡。阿寺, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。既に阿
寺(神谷1955)で記録あり。
77. コマルノミハムシ
Nonarthra tibialis Jacoby
七郷一色, 13-VI-'87, 1ex. 浅岡。鳳来峡,
15-IV-'90, 1ex. 山崎。玖老勢, 13-VII-'86,
1ex. 既に鳳来湖(山崎・穂積1990)で記録あ
り。

トゲハムシ亜科 (Hispinæ)

78. カタビロトゲハムシ
Dactylispa subquadrata (Baly)
七郷一色, 6-VI-'87, 1ex. 浅岡。
79. ヒメキベリトゲハムシ
Dactylispa angulosa (Solsky)
阿寺, 15-IV-'90, 1ex. 山崎。既に阿寺
(神谷1955)で記録あり。

80. キベリトゲハムシ
Dactylispa masonii Gestro
七郷一色, 13-VI-'87, 2ex. 浅岡。大島川
20-V-'90, 1ex. 山崎。
81. クロルリトゲハムシ
Rhadinosa nigrocyanea Motschulsky
七郷一色, 18-X-'87, 2ex. 浅岡。

カメノコハムシ亜科 (Cassidinae)

82. ヒメカメノコハムシ
Cassida piperata Hope
玖老勢, 13-VII-'86, 1ex. 浅岡。
83. セモンジンガサハムシ
Cassida versicolor (Boheman)
川合(神谷1955)その他の記録がある。
84. コガタカメノコハムシ
Cassida vespertina (Boheman)
棚山, 3-V-'90, 1ex. 浅岡。上島田川, 3-
V-'90, 1ex. 浅岡。既に鳳来寺山(山崎・穂積
1990)で記録あり。
85. ルイスジンガサハムシ
Thlaspida lawisii (Baly)
黄柳野, 20-V-'90, 1ex. 山崎。川合(神谷
1955)その他の記録がある。奥三河では広く分
布しているが、いずれの産地においても個体数
は多くない。今のところ黄柳野がこの地方での
最も南の産地にあたる。
86. イチモンジカメノコハムシ
Thlaspida cribrata (Boheman)
亀淵川, 29-IV-'90, 2ex. 浅岡。既に阿寺
(神谷1955)で記録あり。

以上鳳来町のハムシ科は既知種は44種であった
が、新たに42種を加え86種となった。総数のうち
73種については今回確認した。これらの多くは浅
岡孝知氏の採集品によるものである。

この目録中には分布上興味深い種も若干ではあ
るが見られ、ハムシ科甲虫においては鳳来町は極め
て魅力に富んだ地域の感を受けたので、今後もさ
らに継続調査をして行きたいと思う。

文 献

1. 神谷一男(1955)北設山岳及び鳳来寺山県立公園一帯の自然科学・奥三河の昆虫相。
2. 大平仁夫(1985)鳳来寺山の甲虫類(II), 鳳来寺山自然科学博物館館報, (15) 7~10。
3. 大平仁夫(1986)富田晶氏寄贈の「県民の森」蛾類, その他の昆虫について, 鳳来寺山自然科

学博物館館報, (16) 1~26。

4. 山崎隆弘(1978)三河地方で採集した珍しい甲虫(2), 三河の昆虫, (21) 81~83。
5. 山崎隆弘・穂積俊文(1990)愛知県のハムシ科, 愛知県の昆虫(上), 434~460。

三河昆虫研究会の総会

1989年度の総会は, 2月11日に生理学研究所の講義室で開かれました。4月に研究所技術課長の大平博士が定年退官を迎えるので, 同氏の別刷, 文献類が大量に処分され, 来会者は多くの文献を入手でき幸運でした。

会計報告ののち, 1990年度の事務所はとりあえず大平博士の自宅に移すことが了承され, 各参加者は話題を提供, 会の調査地を「鳳来

寺山との周辺」に決めて散会しました。

参加者は伴 憲隆, 蟹江 昇, 小鹿 亨, 山崎隆弘, 照井正康, 岩崎 博, 浅岡孝知, 鋤柄守三, 金田吉高, 坂本博己, 桐山 功, 加藤真也, 鈴木友之, 杉坂美典, 間野隆裕, 太田克人, 穂積俊文, 竹内克豊, 大平仁夫(順位不同)でした。



鳳来町のコムツキムシ

大平仁夫

鳳来町は面積約 265 km², 鳳来寺山 (標高 684m) を中心にした山林の町である。この昆虫相は、北設楽郡の山岳地帯へ連るところとして大変重要な場所であるが、今までまとまった調査が行われていない。三河昆虫研究会では、1990年度の調査目標に鳳来町をあて、調査をすすめてきたが、ここでは、浅岡孝知氏の採集品を中心に、32種のコムツキムシを記録することにした。

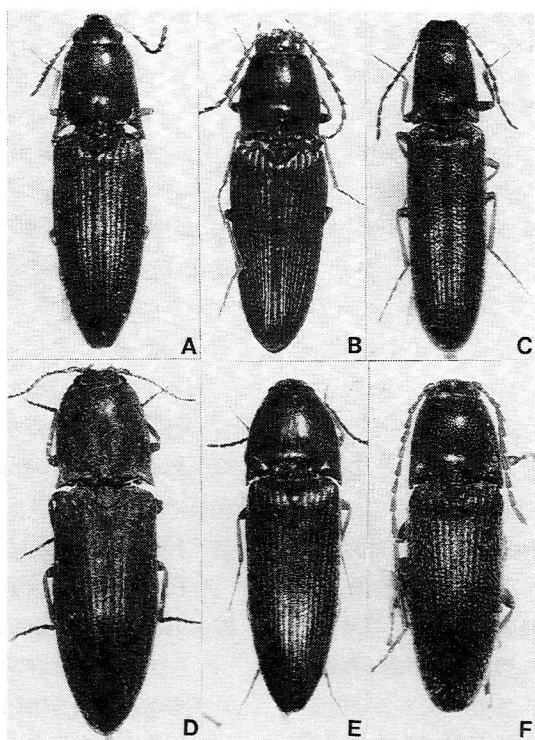
本文を草するにあたり、貴重な標本を提供していただいた浅岡孝知氏に心から感謝の意を表する。

目 録

1. *Tetrigus lewisi* Candèze, 1873
オオクシヒゲコムツキ
七郷一色, 24-VII, 87(18), 浅岡。
鳳来町からはこれが最初の記録と思われる。
2. *Lacon maeklinii* (Candèze, 1865)
オオサビコムツキ (図D)
七郷一色, 24-VII, 87(18), 浅岡。
段戸裏谷から記録されているが、鳳来町からは未知であった。
3. *Agrypnus binodulus* (Motschulsky, 1861)
サビキコリ
大石, 15-VII, 82(18), 浅岡; 鳳来寺山, 8-VII, 87(1819), 浅岡; 七郷一色, 18-X, 87(18), 浅岡。
各地に普通の種である。
4. *Pectocera fortunei* Candèze, 1873
ヒゲコムツキ
鳳来寺山, 24-V, 81(18), 浅岡。
雑木林に普通の種である。
5. *Yukoana carinicornis* (Lewis, 1894)
ヘリムネマメコムツキ
七郷一色, 5-V, 87(1839), 浅岡; 棚山, 3-V, 90(19), 浅岡; 愛郷, 3-V, 90(19), 浅岡。

鳳来町からはこれが最初の記録である。

6. *Fleutiauxellus curatus* (Candèze, 1873)
ミズギワコムツキ
七郷一色, 13-VI, 87(19), 浅岡。
鳳来町からはこれが最初の記録である。
7. *Fleutiauxellus quadrillum* (Candèze, 1873)
ヨツモンミズギワコムツキ
七郷一色, 6-VI, 87(18), 浅岡。
鳳来町からはこれが最初の記録である。
8. *Corymbitodes gratus* (Lewis, 1894)
ドウガネヒラタコムツキ
七郷一色, 5-V, 87(1819), 浅岡。
山地性で、鳳来町からは記録されている。
9. *Neopristilophus serrifer* (Candèze, 1873)
アカヒゲヒラタコムツキ
鳳来寺山, 24-V, 81(18), 浅岡。
この山では個体数が多い。
10. *Aphotistus niger* (Miwa, 1928)
クロオオヒラタコムツキ
大島, 20-V, 90(1819), 大平。
三河地方では少ない種である。鳳来町からはこれが最初の記録である。
11. *Limoniscus vittatus* (Candèze, 1873)
タテジマカネコムツキ
黄柳野, 29-IV, 90(19), 浅岡。
普通であるが、鳳来町からはこれが最初の記録と思われる。
12. *Nothodes marginicollis* (Lewis, 1894)
ウスチャイロカネコムツキ (図C)
七郷一色, 13-VI, 87(1819), 浅岡。
鳳来町からは大平 (1985A) によって記録されている。
13. *Hemicrepidius secessus* (Candèze, 1873)
クロツヤハダコムツキ
七郷一色, 13-VI, 87(18), 浅岡。



A. コミドリヒメコメツキ(体長6.5mm); B. ホソハナコメツキ(体長8mm); C. ウスチャイロカネコメツキ(体長7mm); D. オオサビコメツキ(体長17mm); E. ケバカクロコメツキ(体長17mm); F. マルクビクシコメツキ(体長8mm)

各地に広く分布する普通種である。

14. *Denticollis nipponensis* Ôhira, 1973
ニホンベニコメツキ
榎原, 15-IV, 90(1♂), 浅岡。
三河山岳地には広く分布する種であるが, 鳳来町からはこれが最初の記録である。
15. *Hayekpenthes pallidus* (Lewis, 1894)
ホソツヤケシコメツキ
七郷一色, 5-VI, 87(1♂), 浅岡。
鳳来町では三河大野から記録されている。
16. *Ampedus hypogastricus* (Candèze, 1873)
アカハラクロコメツキ
黄柳野, 29-IV, 90(1♂), 浅岡; 大島, 20-V, 90(2♂), 大平。
普通の種である。

17. *Ampedus vestitus* (Lewis, 1894)
ケバカクロコメツキ(図E)
七郷一色, 6-VI, 57(1♀), 浅岡; 同上, 13-VI, 87(1♂), 浅岡。
三河地方では茶白山と段戸裏谷からしか知られていない。
18. *Ampedus carbunculus* (Lewis, 1879)
ヒメクロコメツキ
七郷一色, 6-VI, 87(1♂), 浅岡。
普通種であるが, 鳳来町からはこれが最初の記録と思われる。
19. *Vuilletus viridis subopacus* (Nakane, 1959)
コミドリヒメコメツキ(図A)
七郷一色, 5-V, 87(1♂1♀), 浅岡; 上島田川, 3-V, 90(1♂), 浅岡。

- 鳳来町では三河大野から記録されている。
20. *Dolerosomus gracilis* (Candèze, 1873)
キバネホソコメツキ
黄柳野, 29-IV, 90(2♂2♀), 浅岡; 棚山, 3-V, 90(1♂1♀), 浅岡; 愛郷, 3-V, 90(1♀), 浅岡; 上島田川, 3-V, 90(1♂2♀), 浅岡。
普通の種である。
21. *Dalopius tamui* Kishii, 1957
ホソナカゲロヒメコメツキ
亀淵川, 29-IV, 90(1♀), 浅岡; 棚山, 3-V, 90(1♂1♀), 浅岡; 鳳来寺山, 24-V, 81(1♂), 浅岡。
大平(1985B)に *D. patagiatus* として鳳来寺(県民の森)から記録した種は, 上記の種のことである。
22. *Ectinoides insignitus* (Lewis, 1894)
ヨツキボシコメツキ
鳳来寺山, 24-V, 81(1♂), 浅岡; 榎原, 15-IV, 90(1), 浅岡; 吉田, 15-IV, 90(1♂), 浅岡; 棚山, 3-V, 90(1), 浅岡。
三河地方に広く分布している種であるが, どこでも個体数は多くない。
23. *Ectinus sericus* (Candèze, 1873)
カバイロコメツキ
大島, 20-V, 90(1♂), 浅岡。
本種は鳳来寺山から記録されている。
24. *Glyphonyx bicolor* Candèze, 1893
キバネクチボソコメツキ
七郷一色, 5-VI, 87(1♂), 浅岡; 同上, 24-VII, 87(1♂), 浅岡。
鳳来町では三河大野から知られている。
25. *Parasilesis musculus* (Candèze, 1873)
クチブトコメツキ
七郷一色, 13-VI, 87(1), 浅岡; 同上, 5-VII, 87(2), 浅岡。
各地に普通の種である。従来は属名 *Silesis* と呼ばれていた。
26. *Melanotus cete* Candèze, 1860
アカアシオオクシコメツキ
大島, 20-V, 90(2♀), 大平。
普通で各地に広く分布している。
27. *Melanotus correctus* Candèze, 1865
ヒラタクロクシコメツキ
鳳来寺山, 3-VI, 79(1♀), 浅岡; 同上, 24-V, 81(1♂), 浅岡; 七郷一色, 5-V, 87(1♂), 浅岡; 甚古山, 29-IV, 90(1♂), 浅岡; 棚山, 3-V, 90(1♂), 浅岡; 愛郷, 3-V, 90(1♂), 浅岡。
山林に普通の種である。
28. *Melanotus senilis* Candèze, 1856
クロクシコメツキ
七郷一色, 13-VI, 87(1♀), 浅岡; 同上, 5-VI, 87(1♂), 浅岡; 大島, 20-V, 90(1♀), 大平。
各地に広く分布する普通の種である。
29. *Melanotus spernendus* Candèze, 1873
ナガチャクシコメツキ
大島, 20-V, 90(1♂1♀), 大平。
鳳来町からは大平(1979)が記録している。
30. *Melanotus fornumi* Candèze, 1878
マルクビクシコメツキ (図F)
柿原, 29-IV, 77(1♂), 浅岡。
鳳来町ではこれが最初の記録である。
31. *Platynychus nothus* (Candèze, 1865)
オオハナコメツキ
大島, 20-V, 90(1♀), 大平。
普通の種であるが, 鳳来町からはこれが最初の記録と思われる。
32. *Cardiophorus niponicus* Lewis, 1894
ホソハナコメツキ (図B)
棚山, 3-V, 90(2♂1♀), 浅岡。
鳳来町では三河大野から記録されている。

引用文献

- 大平仁夫(1979)鳳来寺山の甲虫類, 鳳来町—自然と文化—: 74~79(鳳来町)。
———(1985A)鳳来寺山の甲虫類, 鳳来寺山自然科学博物館館報, (15): 7~10。
———(1985B)山崎隆弘氏採集の三河地方のコメツキムシ, 三河の昆虫, (32): 170~178。

愛知県から30数年ぶりに採集 されたコメツキムシ2種

大平 仁 夫

筆者が1952年頃に採集したコメツキムシで、その後の自然環境の変化から、県下では絶滅したのではないかと思われていた2種のコメツキムシが1990年になって見出されたので、ここに紹介したいと思う。

1950年頃の三河地方の山間部の様子は、大平(1973)などに若干ふれているが、家庭に洗濯機が普及しだし、洗剤による河川の汚濁が始った頃で、山林の伐採もあちこちで始った頃である。

1. *Sericus bifoveolatus* (Lewis, 1894)

コガネホソコメツキ(図1, A)

本種は1952年7月17日に段戸裏谷で岩月学氏が採集した1雄が今までの愛知県からの唯一の記録である。本種は神谷(1955)に *Megapenthes bifoveolatus* という名前で目録の中に記録されており、大平(1973)にこの標本が図示されている。本種は本州、四国、九州の各地に広く分布する山地性の種で、一般に広葉樹の花上で得られるが、どこも個体数は多くない。

筆者は1990年6月10日に茶臼山(標高1,415m)の山頂近くで咲いていたカマツカの花にきていた1雄1雌を採集した。体長10mm内外で細長く、真鍮色の金属光沢を有する。触角は短く、基部節を除いて黒褐色。肢は黄褐色である。前胸背板の前部部に、通常1対の浅い凹陷部を有するので近似種と識別できる。図Aは体長10mmの雄。本種は38年ぶりの愛知県での再記録である。

2. *Fleutiauxellus cruciatus* (Lewis, 1894)

ジュウジミズギワコメツキ(図1, B)

翅に黄斑を有する美麗種である。愛知県では岡崎市の矢作川河畔で見出されたのが最初で、大平・浅岡(1976)に *Migiwa cruciatus* として

記録されている。この標本は1954年5月23日～6月5日に採集されたものである。西尾市の記録は、大平・佐藤(1973)による1971年5月16日に加藤忠和氏が採集された1頭がもとになっている。

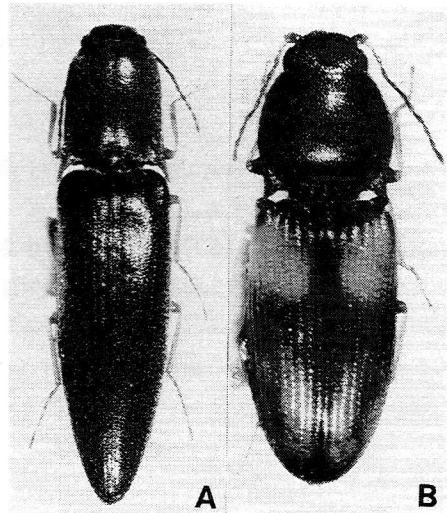


図1. A. コガネホソコメツキ
B. ジュウジミズギワコメツキ

本種は東海地方から関東地方に主として分布する種で、分布範囲はかなり限られているようである。しかし、同じ地域に本種に類似した別種が分布しているので、古い記録のものは再確認が必要である。

体長は4mm内外。体は黒色で扁平状、触角は黒褐色(第1～2節は黄褐色)で肢は黄褐色。上翅には4個の大形の黄褐色紋を有するが、この黄褐色紋は個体による変異がみられる。前方に生ずる紋は、一般に横位の楕円形状を呈する。

筆者は豊橋市の豊川河畔で本種を1990年7月14日に採集することができた。矢作川河畔で見出されてから36年目にあたる。豊川からはこれが最初の記録である。

引用文献

- 神谷一男(1955)奥三河の昆虫相, 北設山岳及び鳳来寺山県立公園一帯の自然科学(調査報告書): 33~70。
 大平仁夫(1973)1950年頃の段戸山のコメツキムシ, 佳香蝶, 25(97):99~101。
 大平仁夫・佐藤正孝(1973)西尾市の甲虫類, 西尾

市の生物(動物)(西尾市史史料IV): 275~306。

- 大平仁夫・浅岡孝知(1976)愛知県のコメツキムシ(北設山岳地帯を中心に), 茶白山高原道路建設予定地域の自然環境調査報告書: 141~153。

篠島で採集した甲虫類

河路掛吾

筆者は1989年に知多郡南知多町篠島で若干の甲虫を採集したので報告する。

採集は2回で1989年の3月16日に南端の小さな砂浜で石やゴミの下を約1時間調べ, その付近にあったヤシバシの枯れ木の一部を持ち帰った。次に5月20日は前回と同じ砂浜とハイキングコース(山道のみ)を夜間(P.M. 8~10時)にライトで見回った。またその時マツの枯れ木に付いていたヒトクチャケを10個程採集し持ち帰った。

記録は種名に日付(16-III又は20-V)と採集数を示し, 持ち帰った材などから出たものは羽化脱出日と羽化脱出数の後に()内に食物を示した。

目録

オサムシ科 Carabidae

1. ミカワオサムシ *Carabus arrowianus* (Breuning) 20-V, 3ex.
2. ヒョウタンゴミムシ *Scarites aterrimus* Morawitz 16-III, 10ex. 20-V, 2ex.
3. オオクロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus nitidus* (Motschulsky) 20-V, 60ex.
4. ゴミムシ *Anisodactylus signatus* (Panzer) 20-V, 1ex.
5. キベリゴモクムシ *Anoplogenus cyanescens* (Hope) 20-V, 1ex.

6. スジアオゴミムシ *Haplochlaenius costiger* (Chaudoir) 20-V, 1ex.
7. コアトワアオゴミムシ *Chlaenius hamifer* Chaudoir 20-V, 1ex. (図1)
8. クビボソゴミムシ *Galerita orientalis* Schmidt-Gobel 20-V, 2ex.

エンマムシ科 Histeridae

9. ハマベエンマムシ *Hypocaccus varians* (Schmidt) 20-V, 14ex.

ハネカクシ科 Staphylinidae

10. オオマルズハネカクシ *Domene crassicornis* (Sharp) 20-V, 2ex.
11. カクコガシラハネカクシ *Philonthus rectangulus* Sharp 20-V, 4ex.
12. ホソウミベハネカクシ *Cafius algarum* Sharp 16-III, 2ex.
13. クロサビイロハネカクシ *Ocyopus lewisii* Sharp 20-V, 4ex.

コガネムシ科 Scarabaeidae

14. オオクロコガネ *Holotrichia parallela* (Motschulsky) 20-V, 1ex.

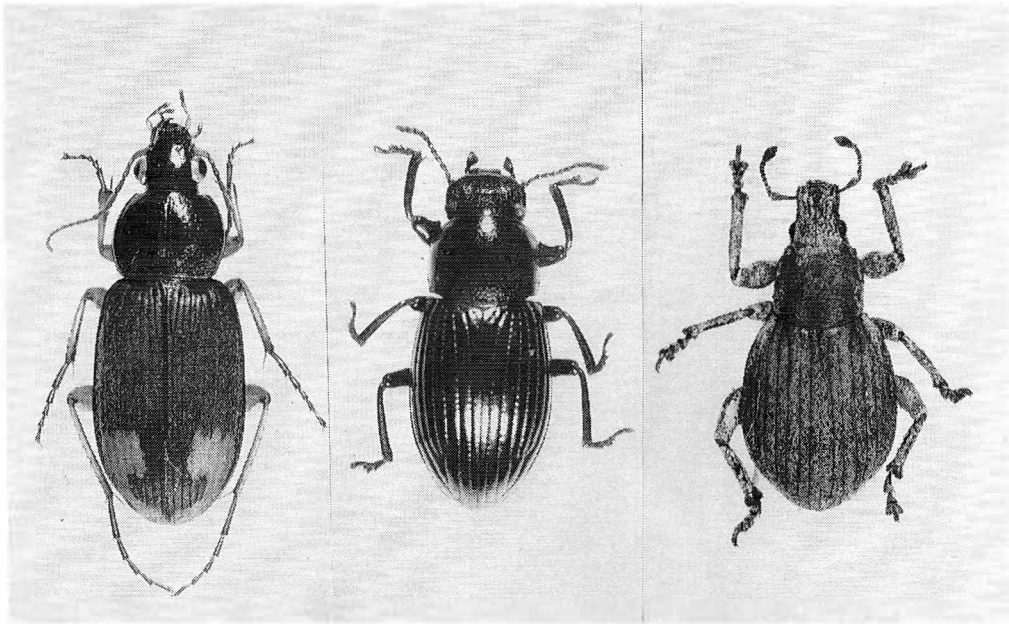


図1

図2

図3

ケシキスイ科 Nitidulidae

15. オオヒラタケシキスイ *Aphenolia pseudosoronia* Reitter 12~19-VI-1989, 10 ex. (ヒトクチャタケ)

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae

16. ヒメカクスナゴミムシダマシ *Gonocephalum tarminale* Reichardt 16-III, 9 ex. 20-V, 21 ex.
17. カブトゴミムシダマシ *Parabolitophagus felix* (Lawis) 11~16-VII-1989, 3 ex. (ヒトクチャタケ)
18. ズビロキマワリモドキ *Gnesis heloploides* Pascoe 20-V, 1 ex. (図2)

カミキリムシ科 Cerambycidae

19. ヨツスジトラカミキリ *Chlorophorus quinquefasciatus* (Castelnau et Gory) 25-VI~13-VII-1990, 4 ex. (ヤシャブシ)
20. ヒメクロトラカミキリ *Rhaphuma diminuta* (Bates) 16-III, 1 ex. 2~5-III-1989,

15 ex. (ヤシャブシ)

ゾウムシ科 Curculionidae

21. トビイロヒョウタンゾウムシ *Scepticus uniformis* Kôno 20-V, 5 ex. (図3)

以上21種を記録したが観光で当地を訪れ延採集時間は3時間程にもかかわらず、愛知県においては珍しいコアトワアオゴミムシやズビロキマワリモドキ等が採集でき、また海岸性昆虫や分布において貴重な種が多く採れて、今になって驚いている。三河で一番虫の少ない島などと言われているが、まだまだ興味深い島で今後の調査が期待される。

三河湾島嶼の昆虫類を調べて

山崎隆弘

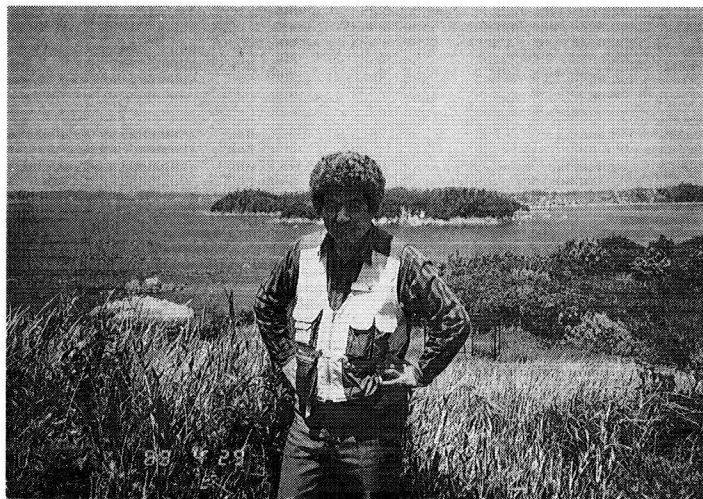


図-1 野島から篠島方面を望む

チャーター船で上陸後、島の中腹の台地に立つ筆者。

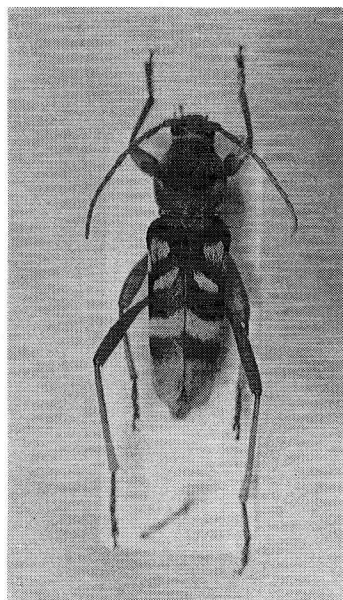


図-3 ヨツスジトラカミキリ

盛夏のころ南部の島嶼でよくみられた海洋性甲虫の一種であるが、近年個体数も増加傾向にある。

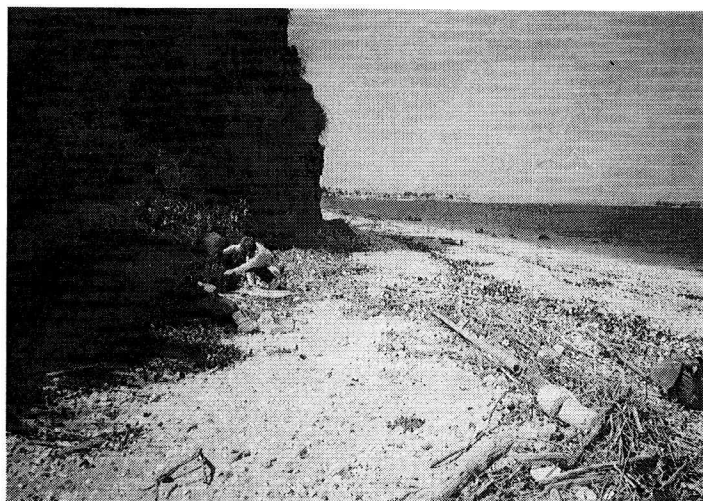


図-2 築見島

チャーター船で上陸後、海浜性の昆虫を調べているところ。ハマベオオヒメサビキコリなどが見られた。

三河湾内には大小20以上の島が点在しているが、このうち集落があるのは日間賀島、篠島、佐久島の3島だけであとは無人島となっている。また、幡豆沖島と前島へは周年名鉄海上観光船が就航しているし、三河大島と梶島へは夏季に限るが渡船がある。さらに、竹島、佐久大島、筒島、小磯島、

中手島については陸続きとか橋によって渡ることができるので問題はない。これら12島のほかはすべて船をチャーターしなければならない。こうしたチャーター船による昆虫調査は経費もばかにならないが、これだけではない。島へ渡してもらう条件として「好天無風の日であること」これ以外

はまず船を出してくれない。したがって計画がくろうことは日常茶飯事的に起きる。島の調査行はここがもっとも厄介である。

こうして木島、野島、築見島、姫島へと主な島を一通り調査した。その数は16島を数えた。どこも一見平凡な島ではあるが、各島ごとに昆虫相が違って興味深かった。

三河湾島嶼から得られた資料についてはまだ十分とはいえないが、本会員の浅岡知孝氏と共に、「三河湾島嶼の昆虫類」ということですでにまとめに取りかかっている。この内容については紙面の都合で省略するが、種類数については予想を越えた数を見出すことができたし、分布上興味ある種も得られている。これによって、当初我々の島の概念であった「自然環境は極めて貧弱」「だか

ら昆虫相も極めて貧弱」と言うまきに見下げていたそれが、近頃は打って変わって「魅力あるのは島の昆虫」と改めている。ともあれ、まだまだ三河湾の島嶼には多くの意外性が秘められているようで、今後とも興味深い地域であることには違いない。

この調査行では、浅岡氏のほかに大平仁夫博士、照井正康氏共々大変お世話になり、また松野更一氏、竹内克豊氏、鈴木友之氏、その他の方々とも同行させて頂いた。ここに記して厚くお礼申し上げます。

口永良部島の昆虫観察記

浅岡 知孝

口永良部島は、薩南地方鹿児島県熊毛郡に属し、屋久島から12kmのところの位置する。周囲は約50km、人口は200人あまりで、屋久島よりフェリー第2太陽丸にて、約2時間で着く。来年より島の反対側湯向に着くようになれば、1時間になるようである。(地図参照)

大平、原田両先生と筆者は、日本列島と琉球列島との種の分布上での問題点に興味があったので、その資料収集に努めるため、7月27日から29日にかけて調べることにした。原田先生の昼夜に亘る活躍は見事であったことを記しておきたい。

調査は植生の豊かな地を務めて捜したが、本村周辺に集中して進めることにした。ビーティング、スイーピング、トラップ、燈火等実施する。

甲虫類では、明るい体色のノゴリクワガタ、フタモンウバタマコメツキ、おびたしいアオドウガネ、シロテンハナムグリ、リュウキュウツヤハナムグリ、アヤムネスジタマムシ、スジコガネ、オオコフキコガネ、屋久島には多いが少なかった

ヤクカンショコガネ、キボシカミキリ、ヨツスジトラカミキリ、フタオビミドリカミキリ、キベリヒラタノミハムシ、ハンミョウ等が見られた。

その他では、タテハモドキ、ナガサキアゲハ、多いツマグロヒョウモン、ツマベニチョウ等のチョウが見られた。特にセミ類、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、リュウキュウクマゼミが多く、その鳴き声を聞くことができた。



詳しい報告については、次の機会とするが、全体的に種類数は少なく、同種が多産するという島特有の昆虫相を呈しているようである。今後続けて訪れてみたい島である。

おわりにずっとお世話になった、民宿のぶ子の皆さんに写真を添えて紹介してお礼を申しあげる。



民宿のぶ子前にて
(左から大平先生、民宿のまご、まご、原田先生、筆者)

私の研究—その1—

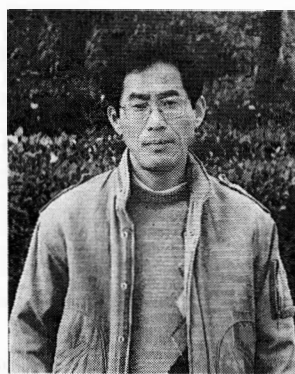
私 と 蜂

伴 憲 隆

蜂、刺されると痛い、痛いどころか死ぬ人さえいる。嫌い嫌いやつだ、とまず多くの方は思うでしょう。でも、その生活、習性が分かってくると、それほど恐い虫でないことに気づきます。がしかし注意しなければならないことは確かです。

私はこの1年、蒲郡市内及びその周辺の5ヶ所を調査地を選び短時間、長時間を含め都合30回ほど採集に出掛けました。その結果、今まで全く知らなかった種類や性質、生活などがわずかながら知ることができ、改めてハチの世界が我々人間社会と非常に似ていることにびっくりさせられています。

私が蜂に興味をもったのは今から30年ほど前の中学1年の時でした。夏休みの自由研究テーマに蜂を選んだ時です。なぜ蜂にしたかと言うと、恐くて誰れもしないだろう、との単純な思いつきからで、特別虫が好きとか、これから昆虫を集めよう、とかでは全くありませんでした。当時のことを思い出すと採集道具、方法にしても粗末なもので駄菓子屋で買った安物の捕虫網、ガラスの空瓶にナフタリンを入れた殺虫管、それに雑巾1枚、(雑巾はスズメバチなどは網を破って逃げるから



捕えると素早く押えて瓶の内に入れるその為に必要)それで1ヶ月間、自転車で近くの山や空地に出掛け、アブを含め約60種ほど採集し市内標本展示会で入選した思い出があります。なぜかこの年になって、あの日あの時の情熱が再び蘇った様で採集が楽しく童心にかえって夢中でハチを追っかけている今日此の頃です。

膜翅目は、ハチとアリを含む非常に種類の多い目で、わが国には約60科1万種以上産するといわれ、小さいものは0.2mmのタマゴヤドリコバチ、大きいものでは50mmぐらいのツチバチまでと多種多様で、とても、とても私しにはできません。せ

いぜい北隆館の大図鑑に記録されているコバチ類を除いた科、種ぐらいが限界でしょう。採集したハチのなかにはアメリカジガバチのように1945年に日本に侵入上着した種もあり、この地域の分布

調査の必要性を感じます。その他についても整理でき次第発表したいと思っています。

私の研究 — その2 —

私とゴマシジミ

杉坂美典

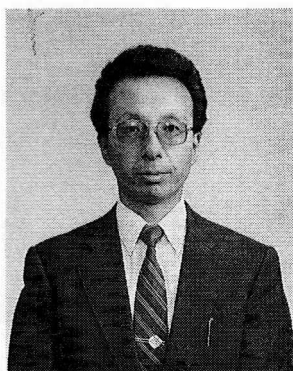
私がゴマシジミに初めて出会ったのは、今から21年前、木曾駒ヶ岳の山麓に広がる開田高原であった。青白色の翅は真夏の太陽に照らされて輝き、夢多き高校生であった私にとっては、図鑑でしか見たことのないチョウとの感動的な出会いであった。

それから9年後、担任した子供たちと冗談半分で『作手村でゴマシジミを発見する会』と名付けて自然観察会を開催した。その当時、作手村のゴマシジミは絶滅したと伝えられていたが、自然の中で遊ぶ楽しさを体験させたかったからであった。

当日、参加した子供たちを3グループに分け、蝶類図鑑を持たせてどんなチョウがいるかを観察させ、後でみんなで報告し合うことにした。解散後、しばらくしてから集合地点で待っていると、子供たちが、

『先生、ゴマシジミがいたよ。採ったよ。』と叫びながら、ネットの中央を握りしめて走って来るのである。

『それは、たぶん、ルリシジミだろう。』と思いながらネットを見ると、な、なんと、本物のゴマシジミが動いていた。



その後は、東京にいた金田吉高氏と連絡を取りながら、愛知県・岐阜県・長野県と連日調査に出かけた。本当に、“雨にも負けず、風にも負けず……”の日々がその後、真夏から初秋にかけて3年間続き、多くの新産地の発見と新知見を得た。

そして、これらの資料をデータ化し、統計学に基づいた分析をコンピュータにさせ、『愛知県およびその周辺に生息するゴマシジミの地理的変異についての一考察』としてまとめることができた。この研究論文が全国コンクールで1位になり、首相官邸に招待され、著書『ゴマシジミの謎を探る』の出版へと繋がっていった。

短報

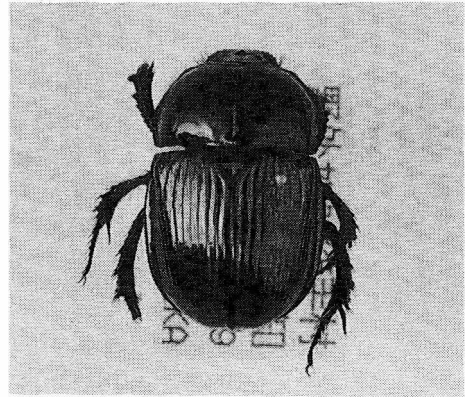
類, 三河の昆虫 (37) : 282 ~ 302
松野更一・伴 憲隆・穂積俊文(1990) 愛知県の
コガネムシ類, 愛知県の昆虫 : 339

クロコノマチョウを安城市で目撃

小鹿 亨

クロコノマチョウ *Melanitis phedeima*
oitensis MATSUMURA を安城市で目撃している
ので報告する。

《データ》 1♀, 目撃 愛知県安城市城南町
安城南中学校敷地内 27.IV.1990
校舎北側にあるササの植え込みに潜り込んだと
ころを発見したもので, 秋型の♀であった。



南設楽郡鳳来町のギフチョウ

小鹿 亨

愛知県内のギフチョウはどこでも数が少なくなり,
産地も失われつつあると聞かすが, 筆者は1990
年4月1日に南設楽郡鳳来町でギフチョウ *Lue-*
hdorfia japonica LEECH を採集してきたので
報告する。

《データ》 2♂♂, 筆者採集・標本保管 2♂♂
1♀ 目撃 愛知県南設楽郡鳳来
町 1.IV.1990。

オオセンチコガネを作手村で採集

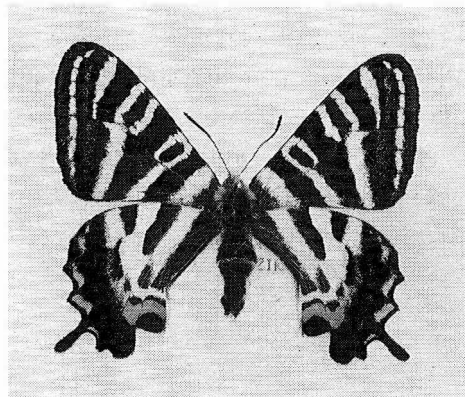
小鹿 登美

オオセンチコガネ *Geotrupes auratus*
MOTSCHULSKY は, 愛知県内においては, 比較的
採集記録の少ない甲虫のようである。筆者は南設
楽郡作手村にある安城市作手高原野外センターの
敷地内において, 本種を採集しているので報告す
る。スギ植林地の中の空き地に飛来したもので
ある。

《データ》 1ex. 愛知県南設楽郡作手村
安城市作手高原野外センター敷地
内 10.IX.1989 筆者採集・標
本保管。

参考文献

作手村教育委員会(1982)作手村の自然, 作手村
誌 : 3 ~ 120
山崎隆弘(1990) 南設楽郡作手村で採集した甲虫



アサギマダラを安城市で採集

小 鹿 亨

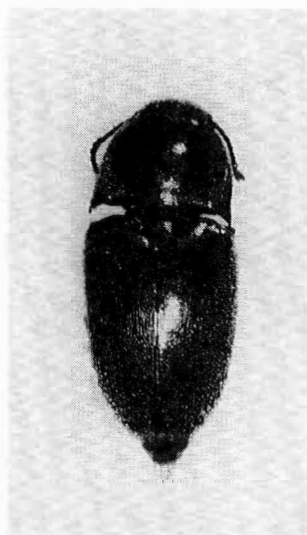
筆者はアサギマダラ *Parantica sita nipho-nica* MOORE を、安城市で採集しているので報告する。

安城市立桜井中学校(同市小川町)の体育館内に入り込んできたもので、おそらく他の地域から飛来した個体と思われる。翅はやや飛び古した感じではあるが、破損はほとんどなかった。

《データ》 1♂, 愛知県安城市小川町
安城市立桜井中学校体育館内
21.X.1990 筆者採集・標本保管。

参考文献

久永和彦(1984) 安城の蝶, 三河の昆虫(30): 138~140



マルマメコメツキ(神島産)

2. *Quasimus ovalis* (Candèze)

マルマメコメツキ(図)

調査標本: 神島, 17-VI, 1990 (1♂), 体長2mm内外の小形種である。

三重県神島のコメツキムシ
2種の記録

大 平 仁 夫

今度、渥美半島や三河の島の昆虫相の調査に活躍されている浅岡孝知氏から、三重県神島で同氏が採集された下記の2種のコメツキムシをいただいた。これはいずれも神島から未記録の種と思われるので、ここに記録することにした。

1. *Zorochrus albipilis* (Candèze)

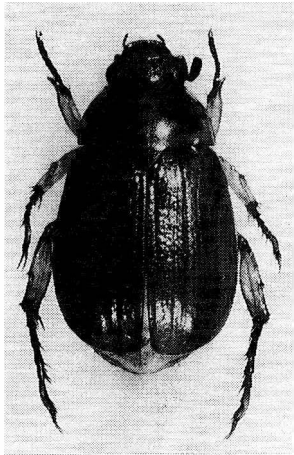
シラケチビミズギワコメツキ

調査標本: 神島, 17-VI, 1990 (1♂)。

渥美半島のチビサクラコガネ

大 平 仁 夫

忘れもしない1990年8月12日の夜、浅岡孝知氏と渥美半島の田原町半耳の海岸で燈火採集をしたときのことである。谷合いの風のない場所で発電機をまわしてしばらくすると、ハエのように身軽によく飛ぶ甲虫が飛来した。急いで採集してみると体長10mmくらいの小形のコガネムシであった。今までにこのようによくとびまわるコガネムシに出合ったことがないし、上翅も含めて体全体が黄褐色で光沢が強く、どの図鑑とも合致しない種である。もしかしたらこれは海浜性の特殊な種か学



会未知の種に違いないと、この個体を眺めるたびに夢は大きくふくらんだ。その後、8月27日に伊良湖岬の先端の砂浜で夜間採集をしたとき、点燈と同時に1頭が飛来した。このように渥美半島のあちこちで採れるのは、期待するような特殊な種ではないのかも知れないという不安が胸をかすめた。

標本は専門家の三宅義一先生に送って調べてもらうことにした。返事はチビサクラコガネ *Anomala schonfeldi* であるということであった。松野(1980)の報告には、渥美半島の伊良湖、蔵王山から記録されていた。このようにして、この夏に渥美半島でふくらんだ夢は、夏の終わりにはあえなく消え去ったのである。珍種と思った原因は他にもある。それは、すでに渥美半島から本種を記録した松野氏にみていただいたら「名前がよくわからない」ということであった。人騒せな方である。

- 1) 松野(1980)渥美半島の食葉性コガネムシ。渥美半島の昆虫：10～14。

三河地方の興味ある甲虫(分布)

浅岡孝知

三河地方で、昨年までに、筆者の手元にある標本の中から、幾つかの興味のある種について報告をする。

1. オオセンチコガネ *Geotrufes auratus* Motschulsky 15-XI, 1982 豊川市財賀町観音山本宮山系の続きの所である。1ex.を山頂で得る。
2. ムネアカセンチコガネ *Boibocerosoma nigroplagiatum* (Waterhouse) 24-X, 1986 1ex. 豊川市平尾町。この地方は個体数が多い。
3. ミツノエンマコガネ *Onthophagus tricornis* Wiedemann 1-VIII, 1986 2ex. 豊川市平尾町；4-XI, 1986 3ex. 豊川市国府町；27-VIII, 1990 1ex. 岡崎市真伝町；15-IX, 1990 2ex. 豊田市勘八町。三河内陸部まで分布が広がっている。豊川市は特に多い。
4. オオフタホシマグソコガネ *Aphodius elegans* Allibert 21-X, 1990 1ex. 豊田市勘八町。この他にも飛しよう中の1個体を確認する。平地に分布するが、比較的報告例がない。
5. フタモンウバタマコメツキ *Paracalais larvatus pini* (Lewis) 23-XII, 1990 1ex. 豊田市勘八町。松の樹皮下より、多くのウバタマコメツキの中より1個体を確認する。三河の内陸部に分布が広がっている。